

首都圏に暮らす単身女性の住空間に関する研究

ー 22 のケーススタディを通してー

A Study on Living Spaces in Young Women's One-Person Households
in Tokyo Metropolitan Areas - Through 22 Case Studies -

○ 佐々木誠 *1 花里俊廣 *2 篠崎正彦 *3 岩岡竜夫 *4

SASAKI Makoto, HANAZATO Toshihiro, SHINOZAKI Masahiko, IWAOKA Tatsuo

This study aims to provide useful materials to design and plan something related living spaces and life-style, and materials to consider appropriate direction on future living spaces. The objects of this study are living spaces and life-style in young women's one-person households in Tokyo metropolitan area.

We had interviews with each of 22 young women to make it clear that the actual situation of living spaces and life-style, and made it visible that the evaluation structure in their senses of value on living spaces, and categorized interior in living spaces.

As a result, the direction of 'LOHAS' including 'Warmth' and 'Sophistication' is worthy of note as a target considering future interior in living spaces, and discussed validity these processes in analyses .

キーワード：単身居住、インテリア、プロフィール、ライフスタイル、評価グリッド法

Keywords : One-Person Household, interior, profile, Life-Style, Evaluation grid method

1. 研究の背景と目的

マンションを買う女性が目立つようになった。例えば週刊誌 AERA では「女性のマンション選び」と題してマンション購入熱の冷めないシングル女性をとりまく状況を特集した^{*1}。マンションを購入する単身女性はマンション購入者のうち、首都圏で 6.6%と単身男性の 6.2%を上まわり、東京 23 区では 10.8%と夫婦のみ専業主婦世帯よりも多くなっている^{*2}。背景として、1975 年あたりから初婚年齢や未婚率、生涯未婚率が上昇し、晩婚化・非婚化の傾向が鮮明になっていることが挙げられる。特に都市部ではその傾向が顕著で、例えば東京都では、女性の初婚年齢が 1993 年の 26.1 歳から 10 年後の 2003 年には 28.7 歳へと上がっており、全国と比べて 2 歳ほど高くなっている^{*3}。1985 年の男女雇用機会均等法、2000 年の男女共同参画社会基本法の施行を経て、もはや性別役割分業による核家族は必ずしも一般的とはいえなくなりつつあり、結婚して専業主婦になるのが女性の典型ではなくなった。

そんななか女性の単身居住についての既往研究は、平山の統計的な調査に基づいた実態分析^{*4}や女性の住宅問題を扱った由井らの地理学的研究^{*5}などにみられる。ここではジェンダーの観点を基礎として統計的資料の社会的・文化的関連性は論じられているが、単身で居住している具体的な女性個人や住空間そのものについて扱われることはほとんどない。一方、一般誌においてビジュアル中心の事例紹介記事が散見され^{*6}、由井の研究^{*7}では同様の住宅購入体験記事で取り上げられた各シングル女性個人の属性や居住地、住宅の購入金額、ローン、住空間、ライフスタイルまでを分析し、購入者の住宅購入行動の特徴と購入意識の高さを明らかにしつつ購入意欲を刺激するという情報提供者（雑誌編集者）の傾向も指摘している。これら既往研究は統計的な実態やマーケティングの対象としてシングル女性の平均像や典型像を描いているが、個々の住空間やライフスタイルの実態に踏み込んだ報告や研究ではない。

本研究では首都圏に単身で居住する 30 歳代を中心に

*1 プレイスメイキング研究所 特別研究員・博（工）

*2 筑波大学 人間総合科学研究科 准教授・博（工）

*3 東洋大学 工学部建築学科 准教授・博（工）

*4 東海大学 情報デザイン工学部建築学科 教授・工博

Research Fellow, Placemaking Research Institute, Dr. Eng.

Assoc Prof., Grad Sch of Human Comprehensive Sciences, Univ of Tsukuba, Dr. Eng.

Assoc Prof., Dept of Architecture, Toyo Univ., Dr. Eng.

Prof., Dept. of Architectural Design, Tokai Univ., Dr. Eng.

40 歳代までの女性を対象にケーススタディとして個々のインタビューや住空間そのものの記録を行い、それらを通じて住空間やライフスタイルの実態を検討した。シングル女性（単身居住の女性）を対象としたのはジェンダーにおける社会的・文化的観点の関心からというより、住空間や住環境の将来像を探る有力なヒントになると思ったからである。特に対象とした首都圏に単身で暮らす 30 歳代前後の女性は、精神的・経済的に自立し余裕が生まれるにつれて、仕事や結婚、出産、ライフスタイルなどの様々な選択肢が増えるのと同時に、全国的には 40 歳後半女性の未婚率が 10%を切っているが^{*8}、実際に結婚や出産の決断に迫られつつあるであろう年齢である。由井^{*9}はシングル女性に住宅購入意欲をわき起こさせる要因として「単に寝るだけの場所から、インテリアにこだわったりホームパーティを催したり、生活の豊かさを追求する場として住まいをつくり上げようとする意志が強い」ことを指摘しているが、その意味で 30 歳代で住宅を所有したシングル女性は、人生の様々な岐路に立ちつつも高価な住宅を購入するという一つの大きな決断をしており、その思い入れのありようが住空間に影響として現れるのではないかと考えられ、特に賃貸住宅のシングル女性と比較すればその点がより明らかになると考えた。住宅購入の決断をした結果、どのような価値観でどのような住空間を選択しどのようなライフスタイルを送っているのか、実際の姿を見てはじめてわかることも少なくない。

このような観点から本研究は、女性単身居住のケーススタディを通してシングル女性の住空間や単身居住について、プロフィールや価値観、ライフスタイルとの関連の中で検討し、実像の一端を示していく。そこから、これからの住空間やライフスタイルに関連するものづくりや企画に役立つ資料を提供し、さらにはこれからの住空間のあるべき方向性を考える一材料を提供することを目指している。

2. 研究の方法

調査対象は、筆者らの知人及び知人を通じて紹介され承諾を得ることができた、首都圏在住の 40 歳代までの単身居住の女性（シングル女性）とその住居とした。主として所有のシングル女性を筆者らそれぞれのつてを通じて依頼し^{*10}、その過程で同程度の属性である賃貸のシングル女性にも依頼していった。住居は戸建及び集合住宅のいずれも可とし、結果的に賃貸 10 事例（うち戸建

1 事例）、所有 12 事例（うち戸建 1 事例）の計 22 事例について調査を行った。

調査は、調査員 2～3 人が対象のシングル女性宅を訪問して、実測及び写真撮影により住居平面や家具配置などを記録し、またプロフィール、住空間、価値観、ライフスタイルについてインタビューし、さらに評価グリッド法（後述）に基づく単身居住及び住空間の評価構造についてのインタビューをする（表 1）という方法を取り、平成 18 年 9 月～平成 19 年 6 月に実施した。

表 1：調査項目

実測	住宅平面、家具
写真撮影	建物外観、住空間、家具、各コーナー、照明器具、冷蔵庫内部、各種家電よく聞く CD、最近読んだ本、窓から見える風景、本人
インタビュー	プロフィール
	住空間
	価値観
	ライフスタイル
評価構造	単身居住、住空間・インテリア

調査結果の基本資料は、インタビュー項目の一覧表と図面及び住戸内外の写真 50～100 枚程度を plan、corner、life style に分けた A3 サイズのデータシート各 4 枚程度を 1 事例分とし、シングル女性 22 事例分をまとめた。分析は 1) データシートに基づいた各項目の整理による対象事例の位置づけや特徴の記述、2) 評価グリッド法に基づく住空間・インテリアの評価構造の可視化、3) 住空間の視覚的イメージに基づく評価による類型化、4) 評価グリッド法に基づく単身居住の評価構造の可視化、5) 生活時間のパターン分析を行った。本稿では住空間と直接関係する 1)～3) の結果をもとに検討を行う。

3. インタビュー結果

3-1 プロフィール

調査対象のシングル女性は賃貸住宅に居住する 10 名と所有住宅に居住する 12 名、計 22 名である。年齢は 30 歳代が 15/22 名（22 名中 15 名、以後同様に示す）と大半を占め、20 歳代後半が賃貸のみ 3 名、40 歳代が賃貸 1/10 名、所有 3/12 名。住居は戸建住宅が賃貸・所有に各 1 名ずつで、それ以外は集合住宅。居住地は大部分が東京 23 区内で、戸建住宅の 2 名に賃貸の 2 名を加えた 4 名が東京都以外。前住居は東京 23 区内が賃貸は 6/10 名、所有は 12/12 名（全員）。出身は首都圏が賃貸 2/10 名、所有 8/12 名。全員（22/22 名）が正規雇用者で、年収は 400 万円未満が賃貸のみ 2 名、400

～ 600 万円（未満）が全体で 7/22 名、600 ～ 800 万円が 9/22 名、800 万円以上が所有のみ 4 名。単身居住の理由は「仕事」や「進学」が賃貸の全員（10/10 名）だが、所有ではそれ以外の理由が過半（8/12 名）で、「親のすすめ」「実家の事情」「離婚」など。

3-2 住居・住空間

住戸面積は所有シングル女性が比較的広く 50㎡台が中心（賃貸は 30㎡前後で戸建の 1 事例を除いて全て 40㎡未満、所有は 50㎡以上が 8/12 事例で、40㎡未満が 2 事例、70㎡以上が 3 事例）。間取りは 1 寝室が主流（所有の 1 事例が 3 寝室であるのを除くと全て 2 寝室以下）。所有の 4/12 事例が中古マンション。立地は駅まで徒歩 5 分以内が所有シングルの多数派（所有の 2 事例を除いた 20/22 事例が駅から徒歩 10 分以内、うち 9 事例が 5 分以内、特に所有の 5 分以内は 6/10 事例と過半）であった。

3-3 価値観とライフスタイル

結婚に消極的なのは賃貸が 1/10 名、所有が 3/12 名。仕事やキャリアに対する姿勢は大半が前向きで、自分磨きを大切に 10 年後や結婚後も仕事を続けている意向

である。生活の満足度（100 点満点の自己評価）は概して高いが、賃貸は 3/10 名が 60 点以下で 90 点以上はいない。所有は 3/12 名が 90 点以上で 60 点以下はいない。

趣味など余暇の過ごし方^{*11} は様々だが、ヨガ・骨盤エクササイズ（5 名）、ネコを飼う（4 名）、マッサージ・整体（4 名）、入浴・睡眠（3 名）、ガーデニング（2 名）、岩盤浴・溶岩浴（2 名）、パワーストーン・溶岩グッズ収集（2 名）など癒しや休息を求めるものが目についた。

4. 住空間及びライフスタイルの実態

調査より作成したデータシートから特徴的な 8 事例を選んで、シングル女性の住空間とライフスタイルの一端を図面や写真から示す。（図 1 ～ 2）

4-1 賃貸シングル女性の住空間とライフスタイル

ケース 2 は外壁が下見板ばりの神奈川郊外にある戸建賃貸でネコと暮らしている。1 階のダイニング+リビングに 2 階の 6 畳間と戸建てながら超小型で、昭和の中古家具やアジアンテイストの布などが飾られる。休日に友人と夕食をつくって食べることもあるという。

ケース 4 は 23 区西部にあるデザイナーズマンション

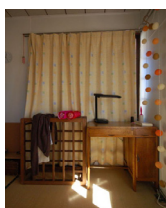
表 2：シングル女性のインタビュー結果一覧表

事例 呼称	住まい・仕事	プロフィール						住空間				価値観・ライフスタイル									
		年齢	住所	出身	職業	年収 (万円)	単身居住 の理由	権利 形態	専有面積 ㎡	建物階数 階	専有間取り	家賃(月間) 円	結婚	仕事	生活 満足度	恋人	ひとり外食	習い事・学習	自宅外での趣味	自宅での趣味	
賃貸	1	三ツ沢の賃貸マンションに暮らす 設計事務所/役員	25-29	横浜市	東京	設計事務所 役員	300	仕事 通勤	賃貸	10	3階建 2階	32㎡ 1LDK	8.8万円	したい	目標収入を上げる	80点	有	仕事時 ランチ	ホットヨガ 茶道	茶道	お茶をたてる
	2	逗子のデビル建住宅にネコと暮らす 団体職員/教育	28	逗子市	大阪	団体職員 教育	400-600	仕事	賃貸	5	2階建 戸建	42㎡ 2DK	8.5万円	したい	やりがいがある	60点	有	2週に1回 東京に行ったとき	シーカヤック 写真、読書	ヨガ、DVD鑑賞 読書、料理、ネコ	
	3	北千住の鉄骨造アパートに暮らす プラシメカー/販売員	28	足立区	茨城	メーカー 販売	300	学校 仕事	賃貸	10	3階建 戸建	30㎡ 2K	7.0万円	したい	生きていく ために必要	80点	無	習い事の前 マクドナルド	英会話 ボート	手芸、らくがき 読書、音楽鑑賞 ビデオ鑑賞	
	4	中野坂上のデザイナーズマンションに暮らす 不動産コンサル会社/企画	30	中野区	富山	不動産コンサル 企画	400-600	大学進学 仕事	賃貸	10	5階建 4階	38㎡ 1LDK	11.5万円	できれば	一生続けたい 生活のメイン	80点	無	月1〜2回 近所のイタリアン	一級建築士	美術館	音楽、DVD、読書
	5	学芸大学のデザイナーズマンションに暮らす 建築家	32	世田谷区	栃木	設計事務所 代表	600	大学進学 仕事	賃貸	7	4階建	28㎡ 1K	13.0万円	したい	結婚しても 続ける	60点	有	週末 恵比寿、代官山	スポーツ クラブ	テニス スポーツクラブ	インターネット
	6	中野坂上の木造重層長屋に暮らす 法律事務所/事務	34	中野区	静岡	法律事務所 事務	600-800	仕事	賃貸	8	2階建 2階	28㎡ 1SK	8.7万円	できれば	こだわらない	70点	無	週末 2回 カレー屋 大戸屋	生け花	演劇鑑賞 書く	ブログ、読書、お花 曜る、お風呂で読書
	7	森下のRCアパートに暮らす 女子大/講師	36	江東区	福岡	大学 教員	700	仕事	賃貸	2	4階建 3階	33㎡ 1DK	8.6万円	できれば	こだわりの よりよい職場 環境	80点	有	週末 2回 近所の沖縄料理 バス屋	生け花	読書、TV見る 音楽鑑賞 7/11系ドラマDVD	読書、TV見る 音楽鑑賞 7/11系ドラマDVD
	8	津田沼の木造アパートに暮らす 美術館/学芸員	38	習志野市	富山	財団職員 美術館学芸員	600-800	仕事 大学進学	賃貸	10	2階建 2階	34㎡ 2DK	6.9万円	どちらでも 可	お金のため 割とできる	70点	無	昼食：週1〜2 夕食：月1〜2	イタリア語 生け花	インターネット ブログ更新、テレビ 鑑賞小説読む	インターネット ブログ更新、テレビ 鑑賞小説読む
	9	北千住の鉄骨造アパートに暮らす パルレル/バイヤー	39	大田区	神奈川	洋服メーカー バイヤー	750	離婚 仕事	賃貸	2	2階建 2階	30㎡ 1Room	9.5万円	もう一度 したい	生活の一部 産化したい	70点	無	なし	英会話	ショッピング	読書、TV見る 音楽鑑賞 7/11系ドラマDVD
	10	葛山台のワンルームマンションに暮らす 家具メーカー/技術営業	43	世田谷区	千葉	家具メーカー 技術営業	500	仕事	賃貸	8	3階建 3階	33㎡ 1Room	9.8万円	できれば	こだわらない	60点	？	昼食	バイク、スキー (昔)	バイク、スキー (昔)	
所有	11	両国の駅近新築マンションにネコと暮らす 訪問看護ステーション/理学療法士	32	墨田区	東京	理学療法士	500	実家と 距離がある	所有	7	11階建 4階	54㎡ 2LDK	2800万円	できれば	好き ずっと続けた い	75点	無	仕事時・週2回 大戸屋、ラーメン バス屋、ファミレス			ガーデニング
	12	初台の山手通り沿い中古マンションに暮らす 不動産会社/経理	33	渋谷区	東京	不動産会社 経理	400-600	親の勧め	所有 中古	8	8階建 7階	40㎡ 2DK	2000万円	必ず	仕事は生活の 糧	70点	有	週末2回 吉野屋	ピアノ	散歩、水泳 読書	読書、占星術 美容により料理
	13	水天宮の隅田川沿い中古マンションに暮らす IT企業/営業	35-39	中央区	埼玉	IT企業 営業	400-600	仕事	所有 中古	3	13階建 8階	45㎡ 2LDK	3000万円	できれば	続けたい 生活の一部	70点	無	週末3回 インドカレー		古い骨物を掘し に行く	ミニシヤ 着物のリフォーム
	14	八潮に建てた注文住宅に暮らす IT企業/総務・人事	36	八潮市	神奈川	IT企業 総務・人事	500	仕事	所有	15	2階建 戸建	90㎡ 1LDK+S	2800万円	無理に はしたくない	生きがい 生きていく張 り合い	95点	無	平日の朝食			映画鑑賞、料理
	15	狛枝の駅近新築マンションに暮らす 訪問看護ステーション/看護士	36	杉並区	静岡	看護士 管理者	600	仕事	所有	3	13階建 4階	39㎡ 1LDK	3200万円	したい	ずっと続けたい 必要 生 きがい	70点	無	週末2回 バス屋 たまにうどん	仕事の勉強	写真	DVD鑑賞
	16	恵比寿のコーポラティブにネコと暮らす 不動産コンサル会社/マネージャー	38	渋谷区	兵庫	不動産コンサル マネージャー	1000-	離婚	所有	4	6階建 3-4階	63㎡ 1LDK+S	4300万円	できれば	主やる こだわらない	92点	無	週末1回 近所の飲み屋	ヨガ	スロット、競馬 花札	読書、入浴、ネコ
	17	目黒の中古マンション1階に暮らす 通販化粧品メーカー/お客様相談窓口	38	目黒区	東京	通販化粧品 相談窓口	600	離婚 実家に居場所なし	所有 中古	12	10階建 1階	32㎡ 1LDK	1600万円	できれば	好き	70点	有	読書のみ		スノーボード ダイビング 打放しゴルフ	DVD・TV鑑賞
	18	上野駅前新築マンションに暮らす 洋服メーカー/営業部長	39	台東区	東京	洋服メーカー 営業部長	700-800	親の勧め	所有	3	14階建 11階	55㎡ 2LDK	4000万円	できれば	ずっと続けた い	88点	無	月1回 職場近くの飲み屋	ジム ヨガ	ジム、スノボ パチンコ、読書	DVD見る 料理、睡眠
	19	桜台の駅近新築マンションに暮らす 洋服メーカー/商品企画	39	練馬区	東京	洋服メーカー 商品企画	900	実家に 居つづける	所有	2	9階建 5階	73㎡ 2LDK	4200万円	したい	納得できる仕 事をしたい	80点	無	週末に 英会話	フラダンス 英会話	編みもの、フラ ガーデニング	
	20	目黒の新築マンションにネコと暮らす 出版社/雑誌編集者	42	豊島区	東京	出版社 雑誌編集	700	実家 土地売却	所有	15	11階建 1階	59㎡ 1LDK+O	4240万円	希望 なし	重要 お金を貯めても 続ける	70点	無	週末1回・カレー ラーメン、そば		鉄道 書、読書	あみぐるみ、ネコ クロスステッチ マフィングくり
	21	五反田の中古マンションに暮らす 雑誌広告制作/課長	42	品川区	大分	雑誌広告制作 課長	800-1000	両親転勤	所有 中古	5	13階建 1階	55㎡ 1LDK	2950万円	できれば	生きていく ために必要	70点	無	読書のみ		ダイビング 博物館に行く (仏像)	パソコンでネット見 る TV見る
	22	池上のコーポラティブにネコ2匹と暮らす 大手電機メーカー/企画営業	46	大田区	熊本	メーカー 営業企画	800-1000	独身	所有	6	5階 B1-1階	70㎡ 1LDK	4000万円	なるべく ならぬ	転勤・独立し たい、資格持 たに長く働く	90点	無	なし	英語	水族館めぐり	ブログ、読書 DVD鑑賞、ネコ フィギュア

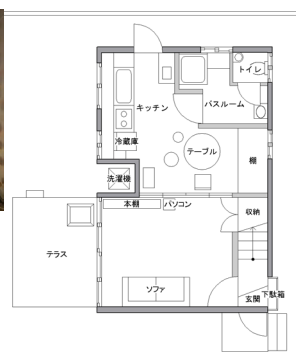
ケース 2：逗子のチビ戸建てにネコと暮らす団体職員



1階の室内全景



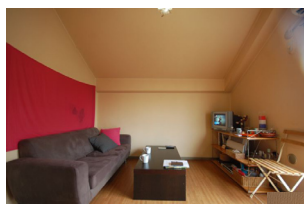
木製の中古家具



ケース 4：中野坂上のデザイナーズマンションに暮らす不動産コンサル・企画



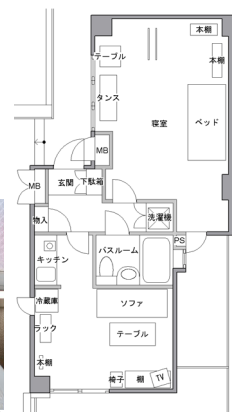
ソファ側からキッチンやバルコニーをみる



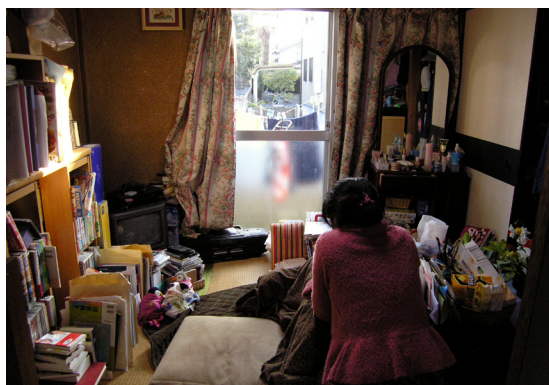
ソファまわり



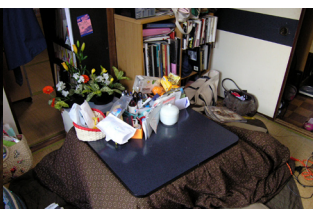
室内に置かれたワインボトル



ケース 8：津田沼の木造アパートに暮らす美術館・学芸員



居間のコタツまわり



ソファまわり



居間やキッチンに趣味の生け花が飾られる



ケース 9：北千束の鉄骨造アパートに暮らすアパレル・バイヤー



窓側から室内を見る



イームズチェアや花が何気なく飾られる



図 1：住空間の姿／賃貸

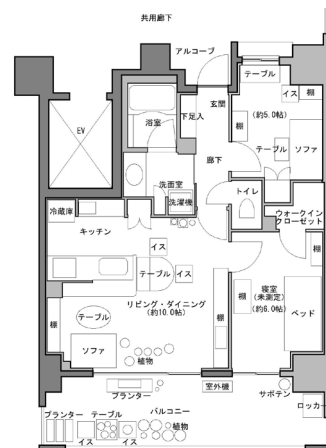
ケース 11：両国の駅近新築マンションにネコと暮らす理学療法士



オープンなカウンターキッチンまわり



熱帯魚や植物が室内のあちこちに置かれる



ケース 13：水天宮の隅田川沿い中古マンションに暮らす IT 企業・営業



ベランダに面する和室



壁面におかれた様々なものの中に岩塩の照明が目をはく



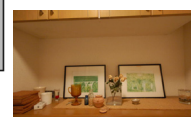
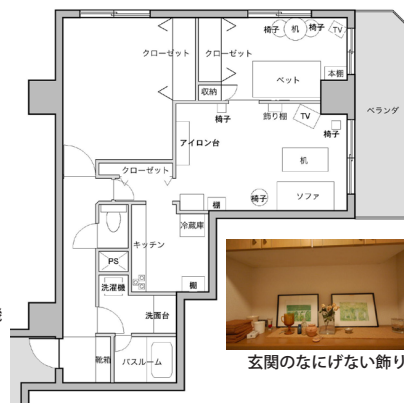
ケース 18：上野駅前新築マンションに暮らすアパレルメーカー営業部長



ベランダに面するリビングルーム



レトロな木製椅子の上に扇風機



玄関のなにげない飾り

ケース 20：目白の新築マンションにネコと暮らす雑誌編集者



ソファのあるコーナー



キャビネット上の飾り・趣味が伺える



DEN にある特注の書棚はびっしり埋まる



図 2：住空間の姿／所有

4階で、1LDKのリビングはものが少なくシンプルなインテリアである。喫煙により住みはじめてから5年経過した壁紙は随分黄ばんでいる。美術館によく行き展覧会カタログの収集が趣味で、好きなワインは週末には欠かせず、ワインボトルがモノの少ない空間で目をひく。

ケース8は千葉にある木造アパートの2階で、2DK和室中心の空間に、多くのものがそのまま置かれている。仕事関係の専門書や趣味の推理小説やコミックが壁一面の本棚など数カ所におかれ、その背表紙がインテリアの主要素になっているが、そのなかに習っている生け花が飾られている。イタリア語、中国語、英語など語学の学習を日常的にしている。

ケース9は23区南西部にある新しめの鉄骨構造2階建てアパート2階で、ワンルームでものが極端に少なくシンプルながら、イームズチェアや植物が空間を効果的に演出している。仕事から海外出張が多く、洋服をたくさん購入し、英会話を習っている。自炊率は高く、キッチンを使い込んでいる。

4-2 所有シングル女性の住空間とライフスタイル

ケース11は都心東部にある駅近新築マンション4階でネコと暮らしている。1LDKのリビングは西向きで日当たりが良く、木の素材や植物が印象的なインテリアになっている。ガーデニングが趣味でたくさんの植物はみな元気で花にあふれ、また熱帯魚も飼っている。絵や写真の飾り、こだわって選んだレースのカーテンなど端々に気づかいが感じられる。習い事などは特にせず、仕事時間以外はゆったりと生活をしており、来客は月1回程度でホームパーティをすることもある。

ケース13は23区東部にある駅近中古マンション8階で眼下に隅田川を望む景色が気持ちいい。和室中心の2DKで、バルコニーに面する和室は壁際にキャビネットが置かれ、テレビのほか本や観賞植物など様々な物がたくさん置かれている。キッチンまわりも調味料やティーバッグなどがそのままおかれている。その他、岩塩の照明器具、観葉植物、光触媒素材による造花、趣味の中古和服の端布でつくった服、姪が描いた絵、健康グッズなどあちこちに置かれている。週末は埼玉の実家に帰って食事をしてくるか、趣味の洋服づくりで過ごすことが多い。

ケース18は都心東部のターミナル駅至近にある新築マンション11階で見晴らしがよく、隅田川の花火も見えるという。2LDKのリビングはフローリングに白いクロス of モダンな内装に、20世紀前半アメリカの雑貨収

集が趣味で、洋雑誌の広告を壁に飾ったりイームズやレトロな木製椅子を置くなどこだわりを感じる。寝室以外のもう1室は将来親が来る可能性がある部屋としてほとんど使っていない。予定のない休日はひたすら寝るが、冬はスノーボードに出かける。至近の実家、スポーツクラブ、キンコーズなど自宅周辺も生活の一部として活用している。お酒好きでたまにホームパーティを催す。

ケース20は都心西部の山手線内側、駅まで徒歩15分ほどの閑静な環境にある高級新築マンションの1階でネコと暮らしている。1LDKの内装はフローリングと白いクロス、白い大理石床仕上げの玄関などモダンな雰囲気、廊下や水まわりもスペースに余裕があり本人の評価も高い。仕事を家ですることもあり、寝室につながるDEN（書斎）には壁全面の特注書棚が造り付けられ、またDENと寝室の壁に、インテリアのショールームで厳選した2色の淡い色のペンキを自ら塗装した。アンティークの和家具に仏像の写真やアロマキャンドル、果物が品よく飾られている。インテリアの洋雑誌をほぼ毎月購読し、また休みの日にするクロスステッチやあみぐるみなどの趣味もある。

4-3 まとめ

調査したシングル女性のインテリアを所有と賃貸に分けて示したが、賃貸は住戸面積がケース2を除いて30㎡前後で比較的狭い。そのなかで室内にものがあふれて露出している場合が多いが、そうではない場合にインテリアがセンスのよい個性として見えてきた。所有は、中古で住戸面積が40㎡前後と狭めの3事例（ケース12・13・17）が室内にものがあふれているのに対して、それ以外は面積が広い中古や面積が狭めの新築も含めて、いずれもものがあふれておらず、インテリアがバランスのとれたセンスのよさやこだわり、個性として見えてきた。それらのインテリアには、どこかのカタログや雑貨屋でみたようなコーナーを見つけることができ、特に所有は照明や家具などが吟味されて置かれている印象があった。住戸単位でみると、ものにあふれていなくても、必ずしも女性らしいわけではない一方、個性的なインテリアとして、植物や古家具、あるいは極端にものが少ないそっけないインテリアなどがこだわりとして見つかった。

5. 住空間の評価構造

評価グリッド法に基づくインタビューより、インテリアに対する評価構造の可視化を試みた。

5-1 評価グリッド法

評価グリッド法は認知心理学の考え方をベースに、知覚や理解、価値観、ニーズを構造的に可視化するインタビュー調査の手法である^{*12}。特徴として、知りたいことを直接聞かず評価項目を回答者自身の言葉によって抽出するため被験者本人の本音を効率よく引き出し、調査主体の主観が入りづらく、インタビュアーの能力差が出づらいた点が挙げられる。各個人の評価の多様性に対して、複数の要素に分解しその関係性をダイアグラムに表現し階層構造として視覚的に捉え、さらに被験者グループの結果を重ね合わせて示し、様々な判断基準に関してより深くより本質的な理解をめざすものである。

「住空間の価値観」キーワード



インタビューはまず住空間の評価項目として「気に入っている点」を挙げてもらい、そこから「気に入っている理由」として上位概念、「気に入るための条件」として下位概念の回答を求めるという手順で行った。本稿ではその結果を中心に示す。

5-2 住空間の評価項目

回答は多岐にわたったが、そのなかで特に「水まわり」の回答が多かった。またそれ以外を「空間構成」と「インテリア」に分け、三つの評価構造のダイアグラムを作成した。そこで出てきた評価項目を列挙すると表3のようになる。

住空間の評価構造

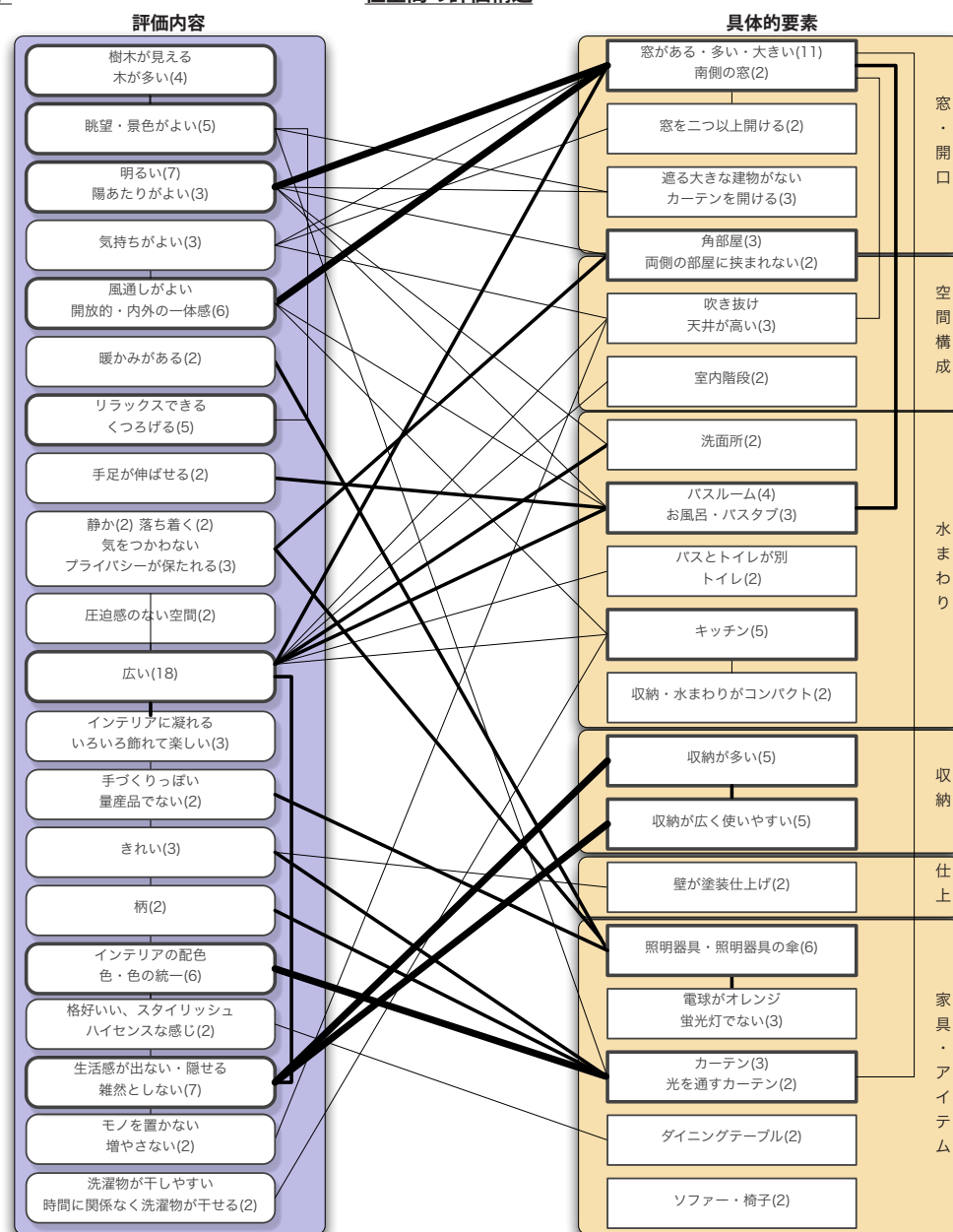


図3：「住空間の価値観」キーワード／住空間の評価構造（カッコ内の数字は回答数、項目間の線の太さは関連性の大小を示す^{*13}）

表3：住空間の評価項目

空間構成	水まわり	インテリア
収納	キッチン	照明器具
眺望・景色	バスルーム	カーテン
窓	トイレ	ダイニングテーブル
角部屋	洗面所	ソファ・椅子
吹抜け・天井		壁が塗装仕上げ
室内階段		配色・色の統一

5-3 住空間の価値観

「空間構成」「水まわり」「インテリア」の3つに分けた評価構造のダイアグラムを統合し「住空間の価値観」の可視化を試みた。その結果、「具体的要素」が19項目となり「仕上」「家具・アイテム」「窓・開口」「空間構成」「水まわり」「収納」の6つに分類でき、「評価内容」が20項目となった。そして「評価内容」の共通性や類似性から筆者が「住空間の価値観」として「ナチュラル」「癒し」「くつろぎ」「洗練」「クール」の5つのキーワードにまとめ、さらに「ナチュラル」「癒し」「くつろぎ」をまとめて「ぬくもり」、「洗練」「クール」をまとめて「ミニマル・高質空間」と整理して示した（図3）。

6. インテリアの指向

先に具体例で示したようにシングル女性の住居におけるインテリアは様々で、それらを単純に説明することは容易ではないが、シングル女性の個々の住空間を撮影した写真をもとに要素別に様々な断片を抽出する作業を行うことにより、いくつかの傾向が見えてきた。それらの傾向から前述の評価グリッド法による「住空間の評価構造」で抽出したキーワード「ナチュラル」「癒し」「くつろぎ」をまとめた「ぬくもり」、そして「クール」「洗練」の各要素をインテリアの指向性をあらわす指標として設定し、事例の類型化を試みた。

6-1 ぬくもり

インテリアの各要素を観察するなかで、植物や動物、ぬいぐるみや手づくりのものなど、暖かみやぬくもりを感じるようなアイテムがあった。そのようなアイテムが多く見られるインテリアを図3のキーワードより「ぬくもり」とし、一方、「ぬくもり」のアイテムがほとんど見られない対極のインテリアを同様に「クール」とした（図4）。

6-2 洗練

居住者がインテリアに対してこだわって手を加えてる場合とそうでない場合がある。いいかえると、部屋に置かれているアイテムがコントロールされているかどうか



図4：「ぬくもり-クール」の評価軸



図5：「洗練-非洗練」の評価軸

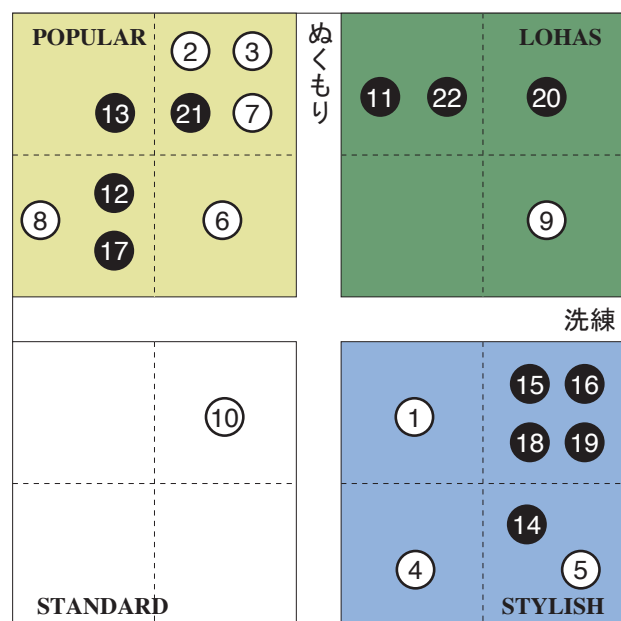


図6：インテリアの指向による事例の四類型
(白地に黒の数字は賃貸事例、黒地に白の数字は所有事例の番号を示す)

である。そのような住み手のコントロールが感じられるインテリアを「洗練」とし、一方、ものがコントロールされないで漫然と置かれている（ものが多くあふれている場合によくみられる）インテリアを「非洗練」とした（図 5）。

6-3 インテリアの指向性による類型

この「ぬくもり」「クール」「洗練」「非洗練」というインテリアの指向性に関する二つの指標に沿って筆者が感覚的にそれぞれを二段階で評価し二軸のチャートにプロットし（図 6）、第一から第四象限をそれぞれ「LOHAS」（「洗練」されており「ぬくもり」のあるインテリア、賃貸の 1 事例、所有の 3 事例、計 4 事例がこれに該当）「POPULAR」（「非洗練」で「ぬくもり」のあるインテリア、賃貸の 5 事例、所有の 4 事例、計 9 事例がこれに該当）「STANDARD」（「非洗練」でぬくもりのない「クール」なインテリア、賃貸の 1 事例のみがこれに該当）「STYLISH」（「洗練」されているがぬくもりのない「クール」なインテリア、賃貸の 3 事例、所有の 5 事例、計 8 事例がこれに該当）という名称で位置付け、各シングル女性のインテリアを類型化した。

7. まとめと議論

7-1 シングル女性のライフスタイル

賃貸シングルと所有シングルの共通点や違いを通して、シングル女性のライフスタイルの一端を見ることができた。調査対象のプロフィールは結果的に 30 歳代が多くなったが、他調査^{*14}でシングル女性の持ち家率は 30 歳代後半が 40 歳代後半以降を除くと格段に多かったという結果と近い。また居住地は都心部の特に城南・城西地域に多く、他調査の 30 歳代女性未婚者率の分布パターン^{*15}に近い。さらに職業は事務系、営業系、医療系、出版系など様々だが、このばらつきや、さらに年収も大きな違いはない。ただし年収が比較的高めであった。

一方、賃貸と所有で大きな差が出ている項目があった。賃貸シングルに地方出身者が多いのに対して、所有シングルは大半が首都圏出身で実家との行き来が頻繁。また単身居住の理由は、賃貸シングルが全員、仕事・進学を挙げているのに対して、所有シングルはそれ以外の方が多数派であった。

実際の住居については、間取りは 1 寝室が主流、住戸面積は所有シングル女性が比較的広く 50㎡台が中心、立地は駅近が多く所有シングルで徒歩 5 分以内が多数派であった。

価値観については結婚に前向きで、仕事に対しても将来を含め積極的な傾向が強かった。ライフスタイルについては自宅内外で多様な生活を送っており一概にはいえないが、生活満足度は全般的に高く特に所有シングル女性の高さが目立った。

7-2 住空間に求める意向の抽出

住空間の評価項目として、収納、開口、眺望、空間の開放感（天井高さ・吹き抜け）、水まわり、照明器具、カーテン、家具、色彩などが挙げられ、それらの評価内容を整理していった結果、5つのキーワード「ナチュラル」「癒し」「くつろぎ」「洗練」「クール」にまとめられた。さらにインテリアの指向性について「ぬくもり」「クール」「洗練」「非洗練」の二軸を設定し、「LOHAS」「POPULAR」「STANDARD」「STYLISH」という四類型に各事例のプロットを試みた。そのなかで住空間へのこだわり（指向性）の二つの要素「ぬくもり」「洗練」を含む「LOHAS」という方向性が、所有シングル女性に比較的多く見られたことから、これからの住空間を考える上での一つの到達点として注目に値すると考えることができる。

7-3 議論

マンションを購入するなど何らかの覚悟を経たであろうシングル女性は、仕事などで忙しくて限られたプライベートの時間のなかでストレス解消や癒しをどのように得ているのだろうか。インタビューを通じて、それには親や友人、都市、アウトドアの趣味など外部への方向と、インテリアや飼い猫、インドアの趣味など内部への方向があり、特に内部で癒しやくつろぎを求める場として住空間は重要であることが見えてきた。より高い満足を得るための「物理的な質」と同時に「精神的な意味・役割」を住空間に見だし、それらの欲求が高まった結果が「こだわり」になるようだ。分析を通じ、このようにひとり暮らしをするシングル女性がことのほか住空間にこだわることの一端を垣間見ることができた。

本研究は 22 事例という限られたサンプルであるためケーススタディの域は出ないが、シングル女性の住空間の詳細な記録をとるという障害が多く困難な作業を乗り越えて実施した点で貴重かつ稀な研究であるといえよう。またシングル女性の住空間について実際の姿を確認した上で、評価グリッド法を通して住空間の価値観を視覚化し 5つのキーワードを抽出し、さらに調査事例の類型化を試みた。それらを通じてインテリアの指向性の一つとして示した「ぬくもり」は、いわゆる女性的といわれるような、かわいらしく潤いのある一般的なイメージ

と重なる部分であるが、「クール」というどちらかという女性性とは感じ難いイメージのインテリアの指向性があることは、必ずしも一般的とはいえないだろう。さらに「洗練」という要素を加えてみるとインテリアのこだわりの拡がりとして理解しやすい。

より正確な理解には地域性の考慮や統計的な検討が必要だが、本研究でも行ったように他調査との比較が有効であろう。また、本研究の数値化できないプロセスは統計的な処理など一線を画するため判断基準の曖昧さは否めないが、とにかく「～風」という既存スタイルに依った表現や感覚的な漠然とした表現で片付けられがちなインテリアの印象を、単に現実をそのまま記述したのではない一連の手続きを通して、実態をインテリアの指向性という視点から一定の基準によって記述できた。その成果のひとつは、調査時点でのシングル女性が指向するインテリアから、近い将来主流になるだろうインテリアの指向性やそれに対応したものづくりのヒント、タイプ別設計への示唆などへと生かしうる有用な視点の提示ではないかと思われる。そして既存の文脈をこえた、居住者の精神的・心理的欲求として解釈・説明し得るのではないだろうか。

ただし本研究で試みたこれらの類型は現時点での一切断面に過ぎず、切り口や時代によって注目すべき軸の設定は変わって然るべきだといえる。その意味でもうひとつ重要なことは、この手続きがその時点で注目すべき指標を抽出することを可能にする方法だという点である。同様に仮説を控えた本研究の分析のプロセスは、意外な事実の発見や多様な解釈の余地を残す。これらは今後の動向を考えたり、ものづくりのヒントを得る方法論としても有効ではないかと考える。

謝辞：

本研究はカルチャースタディーズ研究所による委託研究「独身一人暮らし女性の自宅調査」（住空間にこだわる自立女性の居住調査—ライフスタイルと価値観—）をもとに発展させたものである。カルチャースタディーズ研究所ならびに三浦展氏に感謝申し上げます。

（本調査の概要は日本建築学会 2008 年度大会梗概集に「首都圏に暮らす単身女性の住空間・ライフスタイルの実態」として報告済みである）

注釈：

- *1 AERA、No.56('06.12.4)、朝日新聞社
- *2 首都圏新築マンション契約者動向調査（リクルート /2005）
- *3 厚生労働省「人口動態統計」
- *4 平山洋介：女性の住宅所有に関する実態分析、日本建築学会計画系論文集 2007.6
- *5 由井義通：ジェンダーから見た住宅問題、季刊家計経済研究 69 号、pp28-37、2006
- *6 例えば「日経ウーマン 2006 年 3 月号」（日経ホーム出版社）では、女性単身居住の実例をインタビューと住空間の写真を交えて紹介している。
- *7 由井義通：大都市におけるシングル女性のマンション購入とその背景『女性のための住宅情報』の分析から、季刊地理学、55 巻 4 号、pp.143-161、2003
- *8 都市住宅学会編：データで読み解く都市居住の未来
- *9 前掲：由井 2006
- *10 研究グループメンバーの知人関係を通じて依頼したという点で偏りが生じうる。筆者らの居所は 3 名が東京 23 区内（城東 2、城西 1）、首都圏郊外 1 で、既婚 3、未婚 1 である。
- *11 表 2 の「自宅外での趣味」「自宅での趣味」に加え、紙面上の都合で表 2 に載せられなかった「美容」に関することなどを含む
- *12 評価やニーズは条件や判断基準が複合しているなか、その優先順位や重みづけが各個人で異なるためその多様性は単純ではなく、見かけの評価でその本質を捉えることは困難である。評価グリッド法は、米国の臨床心理学者 G.A. ケリーが提唱したパーソナ・コンストラクト理論に基づくレパートリー・グリッド法を讃井純一郎が発展させ 1986 年に確立し、その後その有効性が各方面から注目されている。
- *13 各個人へのインタビューにおいて得られた評価項目からラダーアップ（上位概念を引き出す）及びラダーダウン（下位概念を引き出す）を行い、その関係を単線で結んで個人のネットワーク図 22 人分をまず作成した。次にそれらを重ね合わせ、共通する項目をまとめ 2 以上の回答があった項目に絞り、重なった数をカッコ内の数字として示した。さらに項目間の単線のつながりが共通する場合はまとめ、重なった線の数から 5 以上を太線、2～4 を中太線、重なりなしを細線として表示した。
- *14 前掲：平山 2007
- *15 前掲：由井 2006